



ごあいさつ



理事長 小林輝夫

皆様には、平素より格別のご高配を賜わり厚く御礼申し上げます。

本年も北上信用金庫に対する皆様のご理解を深めていただくとともに、今後一層のご愛顧を願ってディスクロージャー誌「まる見えしんきん2012」を作成いたしました。

さて、わが国経済は、東日本大震災の影響による落込みから国内需要が堅調に推移するもとで緩やかに持ち直しはじめているといわれておりますが、根強いデフレと欧州債務問題を背景とした海外経済の減速や円高など、内外を巡って不確実性が強まっており、景気の下振れリスクにも警戒が必要となっております。

地域経済は、円高に伴う産業空洞化の懸念が一段と高まっておりますが、岩手県南部地域では自動車生産の拠点化に向けた動きが加速しており、景気回復へのチャンスと捉えております。また、被災地では、依然として震災からの復興が進んでおりませんが、本年は、復興元年と位置付けられ、内陸・沿岸地域一体となって復興に向けた活動が本格化していくものと思われま

す。金融面では、時限立法であった中小企業等金融円滑化法をさらに1年間延長する臨時措置がとられ、出口戦略として金融機関による企業への経営指導などコンサルティング機能の一層の発揮が求められております。

平成23年度は、長期3ヵ年経営計画「しんきん『つなぐ力』発揮Go Challenge 2009～新たな価値の創造と地域の持続的発展をめざして～」の最終年度として、当金庫においても景気悪化による資金需要の低迷や競争の激化など厳しい経営環境下にありましたが、地域の活性化および地域の持続的発展をめざして課題解決型金融を推進し、経営計画の達成に向けて役職員一丸となって取り組んだ結果、平成24年3月期は、業務純益が644百万円、当期純利益が83百万円を計上したほか、重要な指標である自己資本比率は国内基準4%を大きく上回って16.19%となり、高い健全性を確保することができました。

本誌では、平成23年度事業概況や内部統制、地域貢献活動などを取り上げ、当金庫の経営内容について分かりやすくご説明させていただきましたので、なにとぞご高覧いただき、当金庫へのご理解を一層深めていただければ幸いです。

皆様におかれましては、今後とも、変わらぬご支援、お引き立て賜わりますようお願い申し上げます。

平成24年7月



経営理念

地域金融機関として

「中小企業の健全な発展」

「住民生活の向上」

「地域社会の繁栄」

の実現に貢献する



それが為われわれは、

相協力して経営をより堅実な発展性のあるものにしよう。

それが為われわれは、

相協力して職場をより明るい、楽しい働きがいのあるものにしよう。

それが為われわれは、

相協力して自分をより高い豊かな教養のあるものにしよう。



当金庫の姿勢

当金庫は、昭和23年9月の創業以来、協同組織の金融機関として長年にわたり地域に根ざし、「地域金融機関として『中小企業の健全な発展』、『住民生活の向上』、『地域社会の繁栄』の実現に貢献する。」を経営理念に掲げ、相互扶助の精神を常に念頭におき、地域社会との共存共栄を図りながら、社会的使命とその役割を果たしてまいりました。

この姿勢は、今後も何ら変わることなく、地域の皆様から「愛され」、「信頼される」地域金融機関として、健全経営に徹するとともに、より一層の良質な金融商品とサービスの提供に努めてまいります。

信用金庫法 (施行昭和26年6月15日)

(目的)

第1条

この法律は、国民大衆のために金融の円滑を図り、その貯蓄の増強に資するため、協同組織による信用金庫の制度を確立し、金融業務の公共性にかんがみ、その監督の適正を期するとともに信用の維持と預金者等の保護に資することを目的とする。



経営方針

長期3ヵ年経営計画

第2次「しんきん『つなぐ力』発揮」 GOING KITAKAMI (ゴーイング北上)

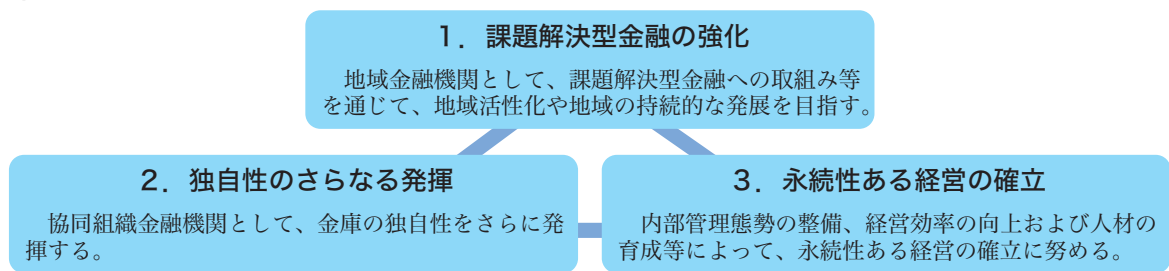
～課題解決から新たな価値創造へ、そして地域の持続的発展をめざして～

自 2012年(平成24年)4月 1日
至 2015年(平成27年)3月31日

◆計画理念

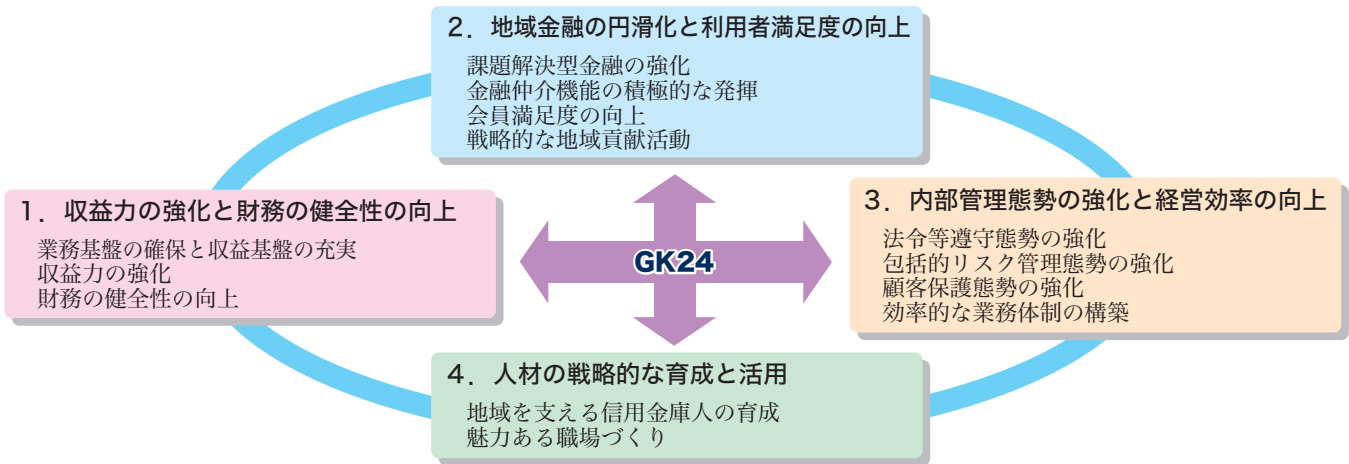
金庫が持つさまざまな地域の関係者の方々と結び付ける役割(「つなぐ力」)を発揮し、新たな価値を生み出し、地域社会の持続的な発展に貢献することをめざす。

◆基本方針



平成24年度経営方針

『GK (GOING KITAKAMI) 24』として、以下の4つを経営重点方針と定め、当金庫が創立以来培ってきた最大の強みである「地域をつなぐ力」を発揮して、地域から信頼される金庫経営を確立し、経営資源の有効活用を図り、全従業員の叡智と協調によって、新長期3ヵ年計画の目標達成をめざしていきます。



平成24年度地域密着型金融推進への取組み

地域金融機関である当金庫が、地域の活性化や持続的な発展に貢献していくためには、これまで行ってきた地域密着型金融への取組みをさらに深化させていくことが重要です。よって、下記の3項目を地域密着型金融推進の取組み方針と定め取組んでいくこととします。

- 1. ライフサイクルに応じた取引先企業の支援強化**
 - ・創業、新事業支援、並びに金融円滑化に向けた経営改善支援、事業再生および事業承継への積極的な取組み
- 2. 事業価値を見極める融資手法をはじめ中小企業に適した資金供給手法の徹底**
 - ・担保、保証に過度に依存しない融資等への取組み
 - ・企業の将来性、技術力を的確に評価できる能力「目利き力」等、人材育成への取組み
- 3. 地域の情報集積を活用した持続可能な地域経済への貢献**
 - ・地域全体の活性化、持続的な成長を視野に入れた、同時的、一体的な「面」的再生への取組み
 - ・地域活性化につながる多様なサービスの提供